

平成 19 年 10 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社 フ ジ ト ミ
 代表者名 代表取締役社長 細 金 英 光
 (J A S D A Q ・ コード 8 7 4 0)
 問 合 せ 先 取締役管理本部長 新 堀 博
 電 話 03-3209-5500

平成 20 年 3 月期中間（連結・個別）業績見通しに関するお知らせ

平成 20 年 3 月期中間（連結・個別）業績につきましては、現在集計中ではありますが、現在までの集計結果に基づく業績見込は下記のとおりであります。

なお、当社グループは、平成 20 年 3 月期中間業績の予想を開示しておりませんので、比較は前年同期と行っており、前年同期実績との差異につきましては下記のとおりとなる見込みであります。

記

1. 平成 20 年 3 月期中間(連結・個別)業績見込

(1) 連結中間業績見込（平成 19 年 4 月 1 日から平成 19 年 9 月 30 日） (単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	中間純利益
平成 19 年 3 月期中間実績 (A)	2,019	314	347	215
平成 20 年 3 月期中間見込 (B)	1,385	△7	31	△150
対前年同期増減額 (B-A)	△634	△321	△316	△365
対前年同期増減率	△31.4	—	△90.9	—

【ご参考】

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
平成 19 年 3 月期通期実績(連結)	2,581	△507	△436	△527
平成 20 年 3 月期通期予想(連結)	上限 2,700 下限 1,600	80 △970	160 △900	130 △900

(2) 個別中間業績見込（平成 19 年 4 月 1 日から平成 19 年 9 月 30 日） (単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	中間純利益
平成 19 年 3 月期中間実績 (A)	1,471	186	218	126
平成 20 年 3 月期中間見込 (B)	1,067	47	95	△50
対前年同期増減額 (B-A)	△404	△139	△123	△176
対前年同期増減率	△27.4	△74.7	△56.4	—

【ご参考】

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
平成 19 年 3 月期通期実績(個別)	1,659	△666	△597	△629
平成 20 年 3 月期通期予想(個別)	上限 1,850 下限 1,000	0 △770	80 △700	70 △700

(注) 平成 20 年 3 月期通期業績予想（連結・個別）は平成 19 年 5 月 18 日付「平成 19 年 3 月期決算短信」で発表した業績予想と変更ありません。

2. 業績概要等

商品先物取引市場においては、勧誘規制の強化などに伴う市場の規模縮小の流れが続き、当中間期の全国商品取引所の出来高も 3,634 万枚（前年同期比 23.7%減、前期下半期比 3.0%減）と引続き低調に推移いたしました。

このような環境の中、当中間期の当社（個別）の業績は、商品先物取引受託業務の受取手数料は 461 百万円（前年同期比 44.3%減、前期下半期比 2.7%減）と前期下半期（平成 18 年 10 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）並の低水準に留まりましたが、商品先物取引自己売買業務は前期下半期の不振から回復し、農産物市場を中心に売買益 605 百万円（前年同期比 5.9%減、前期下半期は△288 百万円）を確保いたしました。また、営業拠点の統合や人件費の抑制などにより営業費用は前年同期比 20.6%減となりました。

これらの結果、当中間期の当社（個別）の業績は、貴金属の活況で順調だった前期中間期との比較では減収減益ではありますが、商品先物取引の受託業務・自己売買業務共に不振だった前期下半期との比較では改善し、営業収益 1,067 百万円（前年同期比 27.4%減）、営業利益 47 百万円（同 74.7%減）、経常利益 95 百万円（同 56.4%減）、税引前中間純利益 76 百万円（同 65.1%減）となる見込みであります。但し、繰延税金資産の見直しにより法人税等調整額 125 百万円を計上予定のため、中間純利益は△50 百万円（前年同期は 126 百万円）となる見込みであります。

当中間期の連結業績につきましては、前期まで比較的順調だった子会社丸梅株の受託業務にも勧誘規制の強化や市場規模の縮小などの影響が表われ、同社が減収・赤字となったため、連結営業収益 1,385 百万円（前年同期比 31.4%減）、連結営業利益△7 百万円（前年同期は 314 百万円）、連結経常利益 31 百万円（同 90.9%減）、税金等調整前中間純利益 8 百万円（同 97.6%減）となる見込みであります。なお、繰延税金資産の見直しによる法人税等調整額 156 百万円を計上予定のため、連結中間純利益は△150 百万円（前年同期は 215 百万円）となる見込みであります。

以 上